

## 知識集約型社会を支える人材育成事業 事後評価結果一覧

### ○評価結果

メニュー	整理番号	大学名	事業計画名	総括評価
I	1	新潟大学	全学分野横断創生プログラム	S
	2	金沢大学	融合した専門知と鋭敏な飛躍知を持つ社会変革先導人材育成プログラム	S
	3	信州大学	全学横断特別教育プログラム「ライフクリエイター人材養成コース」	B
	4	大正大学	新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業	S
	5	東京都市大学	ゲームチェンジ時代の製造業を切り拓く「ひらめき・こと・もの・ひと」づくりプログラム	S
II	6	麻布大学	動物共生科学ジェネラリスト育成プログラム	S
III	7	千葉大学	インテンシブ・イシュー教育プログラムのモデル展開	S
	8	早稲田大学	ソーシャルイノベーション・アクセラレートプログラム	A
	9	名古屋商科大学	ケースメソッドを補完するフィールドメソッドを活用した学外連携型の教育システムとアントレプレナーの養成	B

※メニューⅠ：文理横断・学修の幅を広げる教育プログラム

メニューⅡ：出る杭を引き出す教育プログラム

メニューⅢ：インテンシブ教育プログラム

### ○総括評価分布

評価		件数	割合
S	計画を超えた取組が行われ、優れた成果が得られていることから、本事業の目的を十分に達成できたと評価できる。	6	66.7%
A	計画どおりの取組が行われ、成果が得られていることから、本事業の目的を達成できたと評価できる。	1	11.1%
B	概ね計画に沿った取組が行われ、一部で十分な成果がまだ得られていない点もあるが、本事業の目的をある程度は達成できたと評価できる。	2	22.2%
C	計画に沿った取組が行われておらず、十分な成果が得られていると言えないことから、本事業の目的を達成できなかったと評価する。	0	0.0%
計		9	